

令和3年度 事業計画

令和3年3月3日
一般財団法人長岡花火財団

令和3年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

1 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇り・長岡花火を次世代につなぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として活動します。

また、大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化をはじめ、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進するとともに、中期経営計画に沿った財務運用を行い、組織基盤を確立していきます。

2 令和3年度の重点的な取り組み

(1) ウイルス禍における長岡まつり大花火大会の企画・運営

2020年大会は戦後初の中止となり、2021年大会は2年ぶりの実施となることから、～みんなであげよう！長岡花火！～をテーマとした花火大会とします。

また、ウイルス禍における大会となることをうけ、観覧席の設定、社会的距離の確保など、徹底した感染症対策を施して運営にあたります。警備方法や設営物も抜本的に見直して安全面を向上させるとともに、大型花火スポンサーや長岡煙火協会と連携し、花火プログラムの変更も視野に入れながら、関係企業・団体と一体となった事業運営を行います。

(2) 長岡の誇りを伝える活動

「道の駅ながおか花火館」を市民の誇り「長岡花火」を伝承する拠点と位置づけ、市民はじめ、未来を担う次世代が、「長岡花火」への理解をより深めながら、今以上に長岡に「誇り・愛着」を持てるよう活動を展開します。

また、長岡花火に関わるボランティアの育成にも取り組みます。

(3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

長岡花火ブランドの価値を高め、広めるプロモーション活動を国内外問わず積極的に実施します。また、年間をとおして「花火のまち・長岡」を感じ、訪れてもらえるよう各種事業に取り組みます。

(4) 組織力の強化

長岡花火を応援する企業・団体との連携をさらに深め、新たな財源確保や財政負担の軽減を図るとともに、不測の事態に備える「災害等対策基金」への積み立て、組織の継続性や優れた人材を養成する活動を行い、安定的な組織運営を目指します。

3 主な事業計画

◆ウイルス禍における長岡まつり大花火大会の企画・運営【新規】

- (1) 感染症対策の徹底（感染症対策ガイドライン【参考資料】に則った大会運営）
 - ・身体的距離の確保
（対人距離の確保や区画当たりの人数制限を施した観覧席の設置ほか）
 - ・密集の回避
（無料席の有料化や安全な移動動線の確保と誘導員配置ほか）
 - ・入退場やエリア内、及び大会前後の行動管理
（飲食や大声の制限、手指消毒の徹底、大会前後の感染防止注意喚起ほか）
 - ・連絡先の把握
（無料席の有料観覧席化による個人の把握、接触確認アプリの活用など）
- (2) 運営方法等の変更検討
 - ・感染症の状況に応じて、チケット販売対象者の限定や花火プログラムの規模、時間の縮小など、様々な形式を検討。

※別紙1のとおり

- (3) 安全対策の徹底
 - ・感染症対策を踏まえ、警備体制や資器材配置等を再精査し、安全・安心、かつ、効率的な警備の実施。
- (4) 迷惑駐車対策
 - ・ウイルス禍に伴うマイカー来場者の増加を踏まえ、「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を拡充。

◆チケット販売

- (1) 市民先行販売 ☛ 市民中心の大会へ
- (2) 不正転売の排除
 - ・コンビニ販売の中止、リセールサイトの設置ほか
- (3) 窓口販売の廃止
 - ・密回避のほか、長時間待機による混乱・事故・傷病の防止ほか
- (4) 実状に即した有料観覧席の価格改定

◆長岡の誇りを伝える活動

(1) 「道の駅ながおか花火館」との連携【新規】

- ・ながおか花火館内の長岡花火ミュージアムを軸に、市内の子どもたちを対象にした普及啓発プログラムを作成し、伝承活動を強化。
- ・新たなドームシアター映像を大型花火スポンサー等から協賛を募り制作、放映し、市域全体で長岡花火を訴求する体制を構築。
- ・アオーレシアター映像の変更・調整・連携。

(2) 学校等への訪問活動、米百俵未来塾での啓蒙活動の充実

- ・長岡花火の歴史・想いを子どもたちへ伝えるための学校への訪問活動。
- ・長岡市米百俵財団主催の「米百俵未来塾」に参画し、長岡花火をとおして、ふるさと長岡に誇りと自信を持てる人材を育成。
- ・企業・団体等、成人向けの講演、講義を積極的に実施。

(3) 長岡花火に関するボランティア活動を通じた人材育成

- ・長岡花火の普及・啓発活動や会場設営等を通じ、長岡花火に関わるボランティアの育成（国際ボランティア協会、長岡青年会議所等との連携等）。

◆長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) 長岡米百俵フェス（3回目）

- ・音楽フェスとコラボした長岡花火の打ち上げ。
- ・時期：2021年9月中旬
- ・会場：東山ファミリーランド

(2) 長岡花火ウインターファンタジー（5回目）

- ・冬の長岡花火の打ち上げ。国営越後丘陵公園と連携し、観光資源として定着を図る。
- ・時期：2021年12月上旬 会場：国営越後丘陵公園

(3) 長岡雪しか祭り

- ・長岡雪しか祭り実行委員会に参画。長岡花火「雪花火」の打ち上げ。
- ・時期：2022年2月中旬 会場：千秋が原ふるさとの森

(4) ホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ

- ・姉妹都市ホノルル市のホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ。
- ・2022年は姉妹都市締結10周年
- ・時期：2022年3月中旬 ※打ち上げはフェスティバル最終日。
- ・会場：ハワイ州ホノルル市ワイキキビーチ

(5) 長岡花火打上サポート制度の検討

- ・各地域のイベント等における、長岡花火の発信や想いを伝える活動に対し支援を検討。

(6) 知的財産権の利活用および制度化に向けた検討

- ・「長岡花火」の商標権取得を戦略的に推進（長岡花火の知名度向上、公式グッズの製作）。
- ・商標権の意義を広める活動を実施し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成。

(7) 若年層への訴求

- ・若年層の来場率減少や総体的な人口減が進む中、永続的に花火大会を実施していくため、若い世代に向けたプロモーション活動を戦略的に展開。

(8) 長岡花火のさらなる深化

- ・変化する社会環境にあわせ、打ち上げにかかる技術面の課題を専門家（産官学）等と共有し、将来に向けた新たな花火の研究開発を進め、他の花火大会との差別化と長岡花火の更なる発展をめざす。

◆組織力の強化

(1) 保険加入（事故リスクへの対応）

- ・大規模花火大会に対応した損害賠償保険。
- ・花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険。
- ・役員賠償責任保険団体制度。
- ・煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険。

(2) 災害等リスク対応

- ・不測の事態に備えた「災害等対策基金」への積み立て。

(3) 自主財源の確保、財政負担の軽減

- ・「長岡花火オフィシャルパートナー協定」の締結企業を拡充し、サービスの享受により財政負担を軽減。
- ・「道の駅ながおか花火館」と連携したオフィシャルグッズ販売や商品開発を促進し、経営基盤を強化。

(4) 人材の育成

- ・事業の確実な実施と運営の継続性を図るため、必要な人材の確保及び育成。

(5) 中期経営計画に沿った組織財務の運用

- ・ ウイルス禍に伴う花火大会中止を受け、「中期経営計画」を抜本的に見直し。

◆ ウイルス禍における財源確保【新規】…必要に応じて実施を検討

(1) 国、市補助金の活用

- ・ 新型コロナウイルス緊急経済対策事業補助金。

(2) クラウドファンディングの推進

- ・ 目的、時期、実施方法を検討。

(3) 融資受入れの検討

- ・ 地元金融機関との連携・協力。

◆ 2021長岡まつり大花火大会に係る今後の主なスケジュール

※別紙2のとおり

2021長岡まつり大花火大会開催方法の検討

実施案 1 ※ 現在準備中の方法

●現在のガイドラインに基づいた感染症対策を徹底して開催

- ・社会的距離を考慮した有料観覧席に変更（概ね5割程度）
- ・無料席、フリーエリアの有料化による密集の解消
- ・花火プログラムは従来どおり
- ・市民先行販売を行い、残ったチケットを「全国」に販売

実施案 2

●対象者を「県民・市民に限定」して開催

- ・花火プログラムは従来どおり。
- ・市民先行販売を行い、残ったチケットを「県内限定」で販売

実施案 3

●花火大会の規模を縮小し、対象者を「県民・市民に限定」して開催

- ・共同スポンサー形式とし、大型花火の演目数を例年の2分の1程度、実施時間も約半分の1時間程度に短縮。
- ・市民先行販売を行い、残ったチケットを「県内限定」で販売

実施案 4

●花火大会の規模を縮小し、対象者を「市民に限定」して開催

- ・共同スポンサー形式とし、大型花火の演目数を例年の2分の1程度、実施時間も約半分の1時間程度に短縮
- ・チケットは、「市民限定」で販売

実施案 5 ※ 2020年に実施した方法

●花火大会は開催せずに、想いをつなぐ長岡花火のみの打ち上げ

- ・「慰霊と平和への祈り（尺玉3発）」、「新型コロナウイルス終息祈願（尺玉1発）」を打ち上げ、長岡花火に込められた想いをつなぐ。

2021長岡まつり大花火大会に係る今後の主なスケジュール

時 期	項 目	内 容	備 考
2/1	市政だより 2月号	市民先行販売、感染症対策による観覧席の見直し	
2/4	第1回安全対策部会	大花火大会の感染症対策について等	
3/1	市政だより 3月号	販売スケジュールの掲載	改定価格提示
3月	理事会、評議員会の開催	2021年度事業計画書及び収支予算書の承認	
3月～6月上旬	寄付懇請期間		
4/1	市政だより 4月号	実施方法検討の経過報告	
4月～6月	打上現場復旧工事		
4月	安全対策部会等各種部会の開催		
4/25	市政だより 5月号	チケットパンフレット折込	
5/10～5/21	市民先行販売受付開始	ハガキまたはインターネット	払込書またはクレジット即決
5月	理事会、評議員会の開催	2020年度事業報告及び決算書の承認	
6月～	河川敷会場設営開始		
6月中旬	残チケット販売受付開始	インターネットのみ	クレジット即決
6月下旬	公式リセールサイト運用開始	インターネット	クレジットのみ
6月下旬	第3回安全対策部会	安全対策における重点項目の確認等	
7月中旬	チケット及び返礼品の発送等		
8月2、3日	長岡まつり大花火大会開催		

令和3年度予算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[19,000]	[20,000]	[△ 1,000]
基本財産受取利息	19,000	20,000	△ 1,000
特定資産運用収入	[0]	[6,000]	[△ 6,000]
特定資産受取利息	0	6,000	△ 6,000
事業収入	[407,595,000]	[13,240,000]	[394,355,000]
観覧席販売収入	367,800,000	0	367,800,000
駐車場協力金収入	11,375,000	0	11,375,000
各種販売収入	7,770,000	4,600,000	3,170,000
各種賦課金収入	650,000	300,000	350,000
業務委託料収入	20,000,000	8,340,000	11,660,000
補助金等収入	[157,470,000]	[78,970,000]	[78,500,000]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	57,470,000	0
その他補助金	100,000,000	21,500,000	78,500,000
寄付金収入	[680,000]	[6,150,000]	[△ 5,470,000]
寄付金収入	680,000	6,150,000	△ 5,470,000
協賛金収入	[234,460,000]	[2,720,000]	[231,740,000]
現金協賛金収入	38,800,000	0	38,800,000
広告協賛金収入	800,000	0	800,000
花火協賛金収入	155,360,000	0	155,360,000
フェニックス花火協賛金収入	25,000,000	0	25,000,000
その他協賛金収入	14,500,000	2,720,000	11,780,000
雑収入	[456,000]	[14,242,000]	[△ 13,786,000]
受取利息収入	3,000	2,000	1,000
雑収入	453,000	14,240,000	△ 13,787,000
事業活動収入計	800,680,000	115,348,000	685,332,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[665,731,000]	[32,050,000]	[633,681,000]
花火打上事業費支出	183,863,000	12,100,000	171,763,000
会場設営事業費支出	264,202,000	11,300,000	252,902,000
安全対策事業費支出	98,278,000	400,000	97,878,000
交通対策事業費支出	41,600,000	0	41,600,000
観覧席販売事業費支出	48,574,000	4,000,000	44,574,000
寄付懇請事業費支出	10,382,000	4,250,000	6,132,000
受入体制強化事業費支出	18,832,000	0	18,832,000
普及啓発事業費支出	[2,400,000]	[0]	[2,400,000]
伝承活動事業費支出	2,400,000	0	2,400,000
ブランド発信事業費支出	[69,425,000]	[43,800,000]	[25,625,000]
情報発信事業費支出	23,976,000	7,500,000	16,476,000
海外発信事業費支出	5,860,000	0	5,860,000
情報発信拠点事業費支出	10,940,000	4,000,000	6,940,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
長岡花火打上プロモーション事業費支出	28,649,000	32,300,000	△ 3,651,000
その他プロモーション事業費支出	[4,248,000]	[6,400,000]	[△ 2,152,000]
その他プロモーション事業費支出	4,248,000	6,400,000	△ 2,152,000
管理費支出	[99,245,000]	[90,400,000]	[8,845,000]
人件費支出	75,600,000	69,800,000	5,800,000
施設費支出	12,819,000	10,600,000	2,219,000
その他管理費支出	10,826,000	10,000,000	826,000
事業活動支出計	841,049,000	172,650,000	668,399,000
事業活動収支差額	△ 40,369,000	△ 57,302,000	16,933,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	[0]	[45,035,502]	[△ 45,035,502]
投資活動収入計	0	45,035,502	△ 45,035,502
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	45,035,502	△ 45,035,502
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 40,369,000	△ 12,266,498	△ 28,102,502
前期繰越収支差額	44,016,000	56,282,498	△ 12,266,498
次期繰越収支差額	3,647,000	44,016,000	△ 40,369,000